

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (1)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
0724.12	NR 言わぬ, 日にちをいう	
0747.70	janoasatte <その次け fiasatte> 11017 SAKIASATTE	
0779.03	NR <ちにちを言う。>	
0861.48	NR <日にちを言う。>	
0873.94	NR <ちにちをいう。>	
1731.89	? シアサツテ <老>	
1762.10	シアサツテ ヤシアサツテ <同一意味に使う>	
1763.60	NR <シアサツテとはわかんない>	
1773.217	? シアサツテ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は縦書きにする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (2)
項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
18 14. 25	NR <ここから先は ゑにちに 変わる。 ヤアサツテは たらたら南<とが ある。>	
18 48. 24	NR <ゑにちで言う>	
18 62. 48	? ゴアサツテ.	
18 62. 52	NR 言わぬ	
18 63. 48	NR <言わぬ>	
27 13. 83	NR 希. (アサツテ) 挿用	
27 32. 39	シアサツテ (希)	
27 34. 05	? シアサツテ	
27 65. 02	NR <特に言わぬ>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
	286		
項目名			
明々々後日 III			(3)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
2795.72	NR 特に言うことなり 〈古〉 kokonosate 一様用	
2800.52	ヤ+アガッテ シアガッテ (区別せずに使う)	
3649.16	NR 呼称なり	
3649.58	NR 特称なり	
3689.38	NR 名なり	
3689.75	NR 言わぬなり (名なり)	
3699.25	NR 〈該当語なり〉	
3701.37	NR 〈特に言うことなり〉	
3704.42	NR 〈特に言うことなり〉	

← 3689.49 NR 名なり

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
	286		
項目名		〔C 除いた特殊語〕	(4)
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3704.57	kokonosatte [希] — (実際には用いばい、たむれに敷之時にけい)	
3705.42	* kokonosate <本当は kitasate の次の日>	kitasate
3705.47	kitasate <あやふことば>	
3706.91	NR 言わばい	
3715.51	kokonosatte [希]	
3716.27	NR <言うことばばい>	
3716.58	NR <特に言うことばばい>	
3720.71	NR 呼称ばい	
3722.90	NR ばい	
3722.97	NR 呼称ばい	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (5)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
37 24. 96	NR (この日の名 知らず)	
37 25. 72	? ココナツ	
37 27. 81	NR (これに 当ることばなし)	
37 30. 43	NR 呼称なし	
37 33. 22	NR 使われない	
37 35. 77	NR 〈何日目という〉	
37 40. 29	NR なし	
37 40. 82	saræasatte janaasatte との 茶後 ちよと不明のよう に使われた。	
37 41. 16	DK 〔sirasatte — 採用	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (6)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
3742.82	NR 言わばい	
3743.49	NR (言わばい由)	
3744.18	ヤヤナサッテ (稀)	
3744.33	ヤヤナサッテ 〈少〉	
3745.98	NR (この語が、様子)	
3750.75	NR 言わばい	
3754.76	ヤヤニアサッテ 〈稀〉	
3760.33	NR 名称ばい	
3761.74	NR 特殊ばい	
3764.16	ヤヤニアサッテ 〈稀〉 「〇日」という	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号	地図番号 286	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (7)
項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた新形とその注]		A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
37 65. 74	NR	この名無し、日を呼ぶ	
37 66. 97	NR	(rui)	
37 67. 18	NR	この日の呼ぶ名はないようである。	
37 71. 44	NR	なし	
37 72. 32	NR	なし	
37 72. 73	NR	なし	
37 73. 12	NR	この言い方がない	
37 75. 11	NR	この呼ぶ方なし。日にちをいう。	
37 77. 86	#	アサツ (苦心して答えた)	
37 78. 00	シアツツ	<四つめたから>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (8)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
37 81. 21	NR ない	
37 81. 49	NR 呼称ない	
37 81. 86	NR. 名称ない	
37 82. 38	NR. 不明	
37 82. 71	NR ない	
37 82. 98	NR ない	
37 83. 11	NR 「B」をいう	
37 84. 24	NR 特に言わない	
37 84. 87	NR 〔B〕をいう	
37 85. 42	NR 〔B〕をいう	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (9)
項目名			
明々々後日			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
37 86.44	NR じ……目7 という	
37 90.27	NR じい	
37 93.37	ヤ+サツテノツグノク (稀)	
37 94.55	NR <目7 という> (シアサツテ目 22 または 11 ほうり 12 11 ほうり)	
37 95.19	(ス)シアサツテ { SIASATTE SUASATTE } とす。	
37 95.86	NR じ目7 という	
37 96.95	NR 何目 ⁴ トイウ	
37 97.32	NR 目7 という (何目 という)	
46 09.07	NR 該当語形なし。 <yamoasatte no tsujimohi という>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (10)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4609.54	#? siasattè 〈けりせぬ〉	
4618.49	NR (該当語形のみ)	
4618.87	NR 特ニ名はなく、ニにちえい。	
4619.29	NR けり 〈日にちえいのか 何日先かといふ〉	
4619.63	# 〈 siasattè といふ人ありたが、日、けり ニにちえいといふ。〉	
4628.28	NR 〈該当語形のみ〉	
4628.61	NR 特定の呼ぶ名のみ	
4629.43	NR これ以上は ニにちえいのか。三日す 四日す、五日すの如くい。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (11)
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4638.43	[janoasatte no tsuginogi]	
4639.10	NR < 該当語形なし >	
4639.69	kokonosatte < この次の日は tosatte と 言ひ、その先はなひ >	
4643.47	suasatte < それに用ひる > (5 あつたの意也。1 対しては jamasatte)	
4644.10	NR 言わなひ [[siasatte]] 採用	
4647.69	NR < 「幾日後」の様云う >	
4652.79	[siasatte]	
4653.47	*NR (1) は siasatte < 希 > と答はたは あつて打消した。	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (12)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
46 59.01	NR 〈該当語なし〉	
46 59.50	NR 特定の語がない。 ヤリアサッテノツギヒ	
46 59.85	NR ナシ〈ヤリアサッテノツギヒなどという〉	
46 63.06	ſiasatte — (110に当3カのみ、111に当3カのみ 被調査者は混乱して113。(佐渡の他の方言で111に当3。) ために言われ語である)	
46 67.33	NK 「三つねと」等と云う。	
46 76.39	NR 言わす	
46 76.42	NK シアサッテ と云わす	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (13)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
46 76.60	jamoasatte no jokugi <希>	
46 85.72	jamasatte no tsugi no gi <この日之が多(は)その日(の)日付(を)わって(言)う。>	
46 88.45	NR <何日と之う>	
46 89.10	NR <つかわけん>	
46 94.95	jimasatte <希> <gomasatteはT日>	
47 02.10	NR 名称付1	
47 04.45	NR 日(の)数(を)叫ぶ	
47 04.96	NR 何日と..う	
47 05.20	NR (言)う(と)か(た)いら(ん)	

46. 94. 81 NK ヤアサツテと答(こた)え(に)か(ま)と(て)打(う)消(け)した。

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
	286		
項目名		〔C 除いた特殊語〕	(14)
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
47 05.53	NR この使い方は	
47 06.53	! N.R < 呼ぶ名をつける必要はない >	
47 11.41	[janasattè no tsūji no φφ]	
47 12.54	N.R < 日付を言う >	
47 13.45	N.R < 名はない >	
47 13.60	# N.R < この日付を言う >	
47 21.36	[sasattè] < 希 > (「ササッテ」は余りつかわぬ。ヤササッテ / 次の日とか、日にちを言う場合が 実際には多いわけである。)	
47 22.40	NR < 該当語形はない >	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (15)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4723.14	jamojanoasatte〔希〕 若し人は'siasatte'と言たり 'janoasatteのつぎ'と言たり。 janoasatteと混用したる。	
4723.58	! janojanoasatte〔!〕	
4731.15	NR 114fju	
4731.42	!〔kogomosatté〕	
4731.59	NR (該当語形なし)	
4731.85	NR 〈特に表わす言葉なし〉 〔jamasatté no tsuyi no φgi〕	
4723.91	janajamasatte〈稀〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (16)
	286		
項目名			
明々々後日 山			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4734.56	N.R 〈その日付を言う〉	
4735.37	N.R 使わぬ	
4740.26	! kogonosatte 〈その次の日はトサツテ〉	
4740.93	! kogonosatte 〈たまりに冗談的にいう。そのほかは日にちをいふ〉	
4741.43	NR 使わぬ。〈sasasatte と言うがた〉 〔sasasatte〕	
4741.44	コゴノサツテ〔諧〕	
4741.92	NR とくに呼ぶ名付(. 日にちをいう。)	
4742.37	〈!〉 janajamasatte 〈稀〉 〈普通は何日あるとかその日付を言う〉 〔sasamasatte 稀・古〕	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (17)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4742.95	N.R <"jamasatte の次の日"と10言之日>	
4744.10	N.R 【jamojamoasatte】	
4750.76	N.R 特に日 ヤササテの次の日なと"う	
4751.42	sūmasatte <極稀> <他はニ=チマ"う>	
4752.27	ŝgiasatte <あるいは"ヤササテの次の日"と日"う> (固定した表現が"日"う(。))	
4753.76	N.R (強いて言之日は"シアサテの次の日"である)	
4760.02	N.R 特に日	
4760.54	NR <該当語形日 >	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は密記にする。

質問番号	地図番号	<input checked="" type="radio"/> A 普通注記 <input type="radio"/> (B 除いた共通語) <input type="radio"/> (C 除いた特殊語)	ページ (18)
286 項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4760.64	(janasatté no tsūyī no ōgi) 。或いは何月何日という日にちという。	
4761.57	NR 〈使わぬ。並べた時は)amasatte, その次の日という。〉	
4761.93	NR 使わぬのでわからぬ。	
4762.04	スアサテ 〈ヤアサテとスアサテの区別はく 使用されている。〉	
4762.44	NR 〈使わぬ〉	
4762.56	N.R. 〈kokonosatte という言葉と似た注 があるが、本当にこの意味で使うのか どうか 分らぬ。〉	
4772.33	NR 言い方はぬ。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (19)
	286		
項目名			
明々々後日 山			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
4772.48	sanasatte 〈希〉	
4780.60	sasatte 〈今は取り使わぬ〉	
4781.48	çiasatte 〈取り使わぬ。文抵明日を使〉	
4782.04	NR 特にぬ。jamasatte no tsumji-mogi じとじ。	
4790.30	sasatte 〈取り使わぬ〉	
4791.12	NR 使わぬからわからぬ	
4791.65	NR 〈使わぬ〉	
5472.31	NR 〈日と言う〉	
5507.20	goasatte 〈希〉	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (20)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5507.66	NR <はいとう>	
5508.19	NK <ちにちをいう>	
5516.19	ミアサツテ(?)	110 サアサツテとおぼしめすは.. かと考之。数人に 見た。見た。 101 あり者は 同いたと...。別の 者は違ふと...。どうもは、オキハル
55.17.24	NR たい	
55.27.15	NR たい	
55.27.61	goasatte <たすに使う>	
55.27.89	NR たい	
55.28.31	NR たい	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	<input checked="" type="radio"/> 普通注記 <input type="radio"/> 〔B 除いた共通語〕 <input type="radio"/> 〔C 除いた特殊語〕	ページ (2/)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
55 29. 77	NR 〈たゝ〉	
55 37. 94	NR たゝ	
55 38. 33	NR たゝ	
55 38. 49	NR たゝ	
55 38. 88	NR たゝといじ	
55 38. 90	goasatte 〈希〉	
55 39. 16	NR 〈たゝ〉	
55 39. 43	NR III ちの たゝといじ	
55 39. 74	NR たゝ	
55 48. 24	NR たゝ	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

資料番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (22)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
55 48.58	NR じゅ	
55 49.32	NR じゅ	
55 55.58	NR 〈じゅ〉	
55 56.35	NR 〈じゅ〉	
55 58.09	NR じゅ	
55 58.67	NR じゅ	
55 64.79	NR この辺からは白きいう由	
55 66.51	gojasatte 〈ほとんど使わなう〉	
55 67.46	NR 〈言わなう〉	
55 175.55	goasatte 〈この川方はあつり便よとがなう、 この川にはつと、何日と日さいうが 多う。〉	

多う。〉

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (23)
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
55 76.96	gosasatte 余り使うとはたふ	
55 79.10	NR <使わたり>	
55 84.37	NR -を日数を言うと言う。	
55 84.57	gojasat:e <古>	
55 86.56	NR 日にちをいふ。	
55 91.60	ゴヤサッテ <少> ぶっは。日にちを言う。	
55 95.05	NR ^{た=た} 何日と日にちを言う	
55 99.75	NR <知らたり>	
56 03.88	jasatte 何日と goasattere とは言わぬ。	
56 04.52	gijanasatte <希> <文抵 具体的に何日数を 云って表現する>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	㊶ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (29)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 04. 65	NK 考之に合ふらなと云う。	
56 08. 16	NR <使わなひのてわからなひ。>	
56 11. 39	jameasatte <希>	
56 11. 74	#ミアサヲ 中三者の助言におて。	
56 12. 22	NR 日の数で云う。	
56 13. 33	#jiasatte <希>	
56 17. 28	NR <使わなひ。>	
56 20. 30	NR じひ	
56 23. 27	NR 〔NR〕	
56 23. 42	NR <特別な言ひ方エトナひ>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (25)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 23. 85	NR 特別に言わね。〈今の日の〉	
56 28. 66	NR 〈特別の言い方はね。〉	
56 31. 75	NR 〈別に言わね。日と言う。〉	
56 32. 28	giasatte 〈希〉	
56 32. 83	NR !〈言い方もねいですね〉	
56 33. 45	NR 言うことはね	
56 35. 48	NR 〈シライエにヤアサツラノツキノヒ〉	
56 35. 65	NR ・〈ホカニ コウコトワネ〉	
56 36. 74	NR 〈ツカワタイ、フダンヒテユウ。〉(幾日と日です)	
56 38. 54	シアサツラ 〈余り使わね。〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (26)
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 41. 07	NR < あり言わぬ >	
56 41. 13	NR 何と申言わぬ。 < 117 言はツギキ >	
56 41. 99	ſirasaſtte < あり使ったこと付ぬ >	
56 42. 31	NR < ! 49 次 9 日 >	
56 43. 33	ſiasate < 四番めだから! >	
56 44. 74	シアサテ < 共 >	
56 46. 39	シアサテ < ヨツカテシアサテ。 > (と説明して 113 から、四日 四あり、マと考えて 113 ので ありか。)	
56 48. 96	ヤナサテツギ 当地には、49 日と示す言方がない。	
56 52. 22	? ſiasatte < 四番めだから! >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記	ページ
	286		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(27)
明々々後日 iii		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5652.81	NR 〈特別な言い方はない〉	
5653.42	ſiriasatte (居合寄せた 家人たが。 「そんじと 言ひかたある？」と言ふたが、オ ツカウデヤ! と自信のある答 であつた。)	
5655.57	NR (幾度くりかえしても答へがなない)	
5657.06	ſiasatte 〈ヨシハン×ダカラ ſiasatte〉	
5657.73	NR 〈ſirimasen〉 〔ſiasatte〕採用?	
5658.54	ſiasatte 〈但し、あまり使われない〉	
5659.78	ſiasatte 〈新〉	ſiasatte
5661.34	〔ſiasatte〕	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	<input checked="" type="checkbox"/> 普通注記 <input type="checkbox"/> 〔B 除いた共通語〕 <input type="checkbox"/> 〔C 除いた特殊語〕	ページ
	286		
項目名			
明々々後日 III			(28)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 61. 68	NR 〈日さ言う〉	
56 63. 09	NR 〈何と申言わはん〉	
56 63. 64	NR 〈日さ言う〉	
56 66. 10	ヤ/Aサッテ 〈少〉	
56 67. 41	シアサッテ 〈YI ヲギワ コアサッテ〉	
56 69. 12	fiasatte 〈何り使わはん〉	
56 69. 25	NR 持に名何いかわはん。何月何日という。	
56 69. 96	fiasatte ?	
56 72. 52	NR 〈日さ言う〉	
56 72. 67	NR 〈特別何言い方さいはん〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
	286		
項目名			
明々々後日 山			(29)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 73. 78	! NR < 今の次の日と言う >	
56 74. 59	シアサツテ < ヨツカ×タカラ >	
56 75. 36	# シアサツテ < ナンカツテ ヒオユウ >	
56 75. 87	NR こははた(
56 76. 10	NR [ja'noarsatte はは、ヨク/たは、舞 の、先の日のこと。 na'naarsatte もあるが、これも不確定の、先の日のこと]	
56 76. 52	シアサツテ …… < めたに言わたい >	
56 76. 84	NR 日とす。	
56 77. 14	ſiasatte 念をおして確かめた。	
56 78. 71	NR < 特別には tju >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (30)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5678.86	NR 別に「日」は「日」。	
5679.31	fiasatte <襟>	
5680.34	sihasatte 〔NR〕	
5681.47	NR 次の日数を言う。(janoasatte & njoの「日」)	
5682.34	NR <特別に「日」>	
5684.26	NR <「日」の「日」>	
5685.37	NR <「日」の「日」>	
5686.31	NR <「日」の「日」> (「日」 cf.110)	
5687.32	「日」 110と同じ自信の「日」だ。 「日」の次は「日」という方が多いので 余り使わぬ。>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (31)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
56 87. 86	NR. これ以後は、日ヲたは曜日マ言う。	
56 88. 37	NR. 町。矢張り、日エいふこと。 もう一人の人は 110 エマアサツテ 〆〆〆 111 エマアサツテ 〆〆〆	
56 89. 10	fiasatte <何と何と用いふ>	
56 89. 43	NR. <fiasatte と之をたたら何日? と傳返す>	
56 90. 96	NR (特に何) <何と言わぬ!>	
56 91. 37	NR <特に言わぬ。今の次の日何とと>	
56 92. 53	NR <特別に言うことは何と。>	
56 96. 13	NR. 明々々後日についての呼称は何と。	
56 96. 54	NR. <言わぬ>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (32)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
56 97. 24	NR 別に呼称なし	
56 97. 53	NR <日ていう. 言い方なし>	
56 98. 69	ja ^r noasatte <稀 普通には使われない>	
56 99. 89	fiasatte <稀>	
57 01. 25	NR 持ていふ <jamasatte no tswuginosi という.>	
57 03. 70	fiasatte <ふつうに言わない>	
57 11. 85	? NK <使わない.>	
57 12. 17	NR <何とも言われない.>	
57 12. 70	NR [fiasatte]	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (33)
項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5713.65	NR 〈使わはひ〉	
5714.10	NR 〈使わはひから〉	
5723.02	NR 言ひ方ははひさうだ。	
5723.36	# fiasatte 〈あまり使わはひ〉	
5731.67	NR 〈日ではひ, 特に名ははひ〉	
5741.66	NR ちにちで言う。	
5750.30	NR 〈特別の言ひ方ははひ。今時は日ではひ。〉	
5751.60	NR 〈はんとおひはひ。〉	
5761.77	NR 何月何日といひ, 特に名ははひ。	
5761.91	NR (誘) fiasatte → 採用	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (34)
	286		
項目名			
明々々後日 Ⅲ			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5762.41	NR 〈日 ¹ いて、特に名 ¹ け ¹ は ¹ い。〉	
5771.36	NR 〈0月0日 ¹ と ¹ い ¹ ち ¹ で ¹ い ¹ 。〉	
5772.84	NR 名 ¹ け ¹ は ¹ い	
5782.32	NR 〈0月0日 ¹ という ¹ じ ¹ に ¹ 日 ¹ 取 ¹ り ¹ て ¹ い ¹ 。 ʃiasatte ¹ という ¹ 語 ¹ を ¹ 使 ¹ う ¹ 人 ¹ も ¹ あ ¹ る ¹ が、私 ¹ は ¹ 使 ¹ わ ¹ ら ¹ い ¹ 。あ ¹ り ¹ 先 ¹ へ ¹ 行 ¹ き ¹ ま ¹ す ¹ の ¹ で、日 ¹ 取 ¹ り ¹ て ¹ 言 ¹ わ ¹ は ¹ い ¹ と ¹ ま ¹ ち ¹ が ¹ う ¹ ら ¹ 。〉	
5791.23	ʃiasatte その ¹ 次 ¹ は [goāsatte] と ¹ い ¹ う ¹ 。	
5792.62	ʃiasatte 〈その ¹ 次 ¹ を ¹ ゴ ¹ ア ¹ サ ¹ テ と ¹ い ¹ 言 ¹ わ ¹ ら ¹ い ¹ 。〉	
5792.78	? ʃiasatte	
5793.63	(?) ʃiasatte	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (35)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
63 38. 99	<NR> <何日と言う>	
63 39. 35	NR <使わず、日を目指す>	
63 39. 37	<稀> ゴヤサッタ	
63 49. 23	ゴヤサッタ <多くは何日と呼ぶ。>	
63 54. 46	NR <言い方1>	
63 58. 43	NR (ゴヤサッタ)	
63 65. 91	NR <言い方1>	
63 66. 24	! goasatte <稀> <殆ど使わない> (実際には使わないと思われ3.)	
63 66. 67	goasatte <あまり使わない。>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (36)
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
63 67.09	〈梯〉ゴヤサツテ	
63 67.73	ゴアサツテ 〈梯〉 〈何日と日と言う〉	
63 69.32	ゴアサツテ 〈この位の時は、何日と言う〉	
63 69.37	NR (ゴアサツテ/14/16 というが疑わしい)	
63 74.64	ゴアサツテ [梯]	
63 74.68	NR 〈たし〉	
63 75.40	NR 言わじい。	
63 75.65	NK 〈何日の晩という外に言いはじい〉	
63 76.33	?! goasatte	
63 76.68	NR 〈たし〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 286	① 普通注記	ページ
項目名 明々々後日 III		〔B 除いた共通語〕	
		〔C 除いた特殊語〕	(37)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6378.70	NR 言い方がない。〈何日という〉	
6379.31	NR 知らぬ	
6379.74	ゴラサツテ (希)	
6383.28	NR 〈言い方なし〉	
6384.73	#NR 〈言い方なし〉	
6385.10	NR 〈言い方なし。〉〈何日と言う。〉	
6385.63	NR 〈言い方なし〉	
6385.98	NR (言い方なし)	
6387.48	NR 〈言い方なし。日にちと言う。〉	
6387.62	goasatte……〈実際にはあまり使わない。〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (38)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
63 93.26	NR. 〈言い方が(。日にちを言う。〉	
63 94.09	NR 〈云い方がない〉	
63 94.43	ゴアサ ^ア テ 〈ゴアサ ^ア テは 殆んど使われない。 普通何れという。〉	
63 94.78	!ゴアサ ^ア テ (?)	
63 95.21	NR 〈言い方がない。日にちを言う。〉	
63 96.08	NR 何(… 〈何日と言う〉	
63 96.62	!NR 〈アサ ^ア テ イツキヒヒ と(言い方がない。〉	
63 96.83	NR 何(
63 97.24	Siasatte no tsugi no gi 〈別(呼称名何(
63 97.62	NR 〈何日と云う〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (39)
項目名 明々々後日 iii			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
63 98. 78	NR <言い方は1>	
64 04. 83	NR 使わはし	
64 07. 28	!ゴラサッタ 1959. 1. 13 再調査 呼び名が無いと思、マッタが 答え得ることができた。	
64 07. 43	!ゴヤサッタ <希>	
64 09. 72	?ゴヤサッタ <希> <ゴヤサッタは「ひと」と言われ、 彦彦は「日」と言う。>	
64 10. 77	ゴロアサッタ <古>	
64 11. 33	ゴロアサッタ <?> (忘れられてゐる)	
64 11. 66	NR <日と言う>	
64 12. 48	エアサッタ / ヲイサキ (1おまての其の先) <日と指す>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
	286		
項目名			
明々々後日 III			(40)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 15.83	ʃiraasatte (正しくどうか不明)	
64 19.09	!ゴアサツテ <希>	
64 19.69	ゴヤサツテ 笑わず	
64 20.58	NR <何日と言う>	
64 20.60	NK (忘れられた?) <全く今は使わない。何日と日と指すのみ>	
64 21.26	NK (今は日と叫んで古い言い方は忘れられている)	
64 22.16	シヤツツラノソサキ (明々後日のサキ)	
64 22.77	NR <あまり使わない>	
64 22.93	NR <日と言う> ゴシヤツツラ <希> <自分は何とと使わない> 孫用	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (41)
項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 23. 23	<u>sijasatte</u> 〈昔言たように思う〉 (ヤアアヤ(い)と思う)	
64 23. 75	NR #何れとDと言う。	
64 24. 20	NR Dと言う。	
64 29. 61	!ゴヤサツ 〈希〉〈多くの場合、そのDを指して言〉	
64 30. 53	NR (ゴヤサツは無い)	
64 31. 41	NR 〈何れとDと言う〉	
64 31. 85	ゴアサツ 禱	
64 33. 97	NK 〈この質問に相当する名前は無い〉	
64 36. 33	NR 名が無い。	
64 36. 98	ゴヤサツ 〈希〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	286		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(42)
明々々後日 III		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6437.94	NR <呼ぶ名は無い。カニコキを何回 というように指す>	
6439.17	gorjasatte <考> <今は使わない>	
6440.67	NR <使わない>	
	#ゴラサツテ <希> 採用	
6441.19	ゴアシャツテ _{採用} → かわぬわ……(笑)なわ)	
6441.71	NR 何ともかわぬ。	
6446.05	NR <ゴヤサツテという人がある。>	
6446.43	? ゴヤサツテ	
6447.08	NK <使わない>	
6447.84	ゴヤサツテ <希>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (43)
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6448.61	NR 名びたじい。	
6449.84	NR 名たじ。ソイツキノヒとマヂウ。	
6451.79	ゴラサツテ (?) (新) <〔ミアサツテ〕に 対し、〔四アサツテ〕の 解釈を持ち、〔五アサツテ〕と 1対のらじい >	
6451.83	NR いわぬ	
6452.83	NR 之わぬ	
6452.98	NR ?	
6454.24	#? ゴヤサツテ	
6457.18	NR 日エウ	
6457.45	! ゴヤサツテ <希>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (44)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6458.08	NR 名付1. ゴアサツテという／＼ある。	
6459.29	NR 名付1	
6461.27	ゴラサツテ? 〈何とんど使われぬ〉 (110の〔ゴラサツテ〕の〔シ〕E10と 考之。〔ゴラサツテ〕は〔ゴラサツテ〕 と訂正のである。)	
6462.52	NR 言われぬ。	
6463.73	NR 言われぬ。	
6465.07	ゴヤサツテ 〈希〉	
6465.82	木ゴヤサツテ	
6467.73	NR ① goasatte	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (45)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6469.77	NR 名が付い. ゴアサツテは聞いたことはあるが自分では使わない。	
6470.11	gorasat'te その次を言くと「Eらko'kuasat'te	
6470.59	ゴアサツテ (稀)	
6471.26	NR えわなひ	
6472.53	NR ?	
6473.65	ゴアサツテ (稀)	
6476.92	NR <実際にはキニツマツに近くと。但し、 特別の語は無い。ゴアサツテとも言わない。>	
6479.95	イツカ14 (5日後) などいう	
6482.04	NR ?	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (46)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
64 84. 43	ゴアサツテ (これにはゴヤサツテという言い方はない。)	
64 85. 14	[ゴヤサツテ] <IIIのことは普通には言わない。指折りかきで、無理に、又は冗談に言えばゴヤサツテにほのめ。> (※三巻の言ったゴヤサツテを被調査者は以上のように124とめた。)	
64 85. 82	*ゴヤサツテ シアサツテより言うけれど。 ゴヤサツテはあまり言わない。 ゴアサツテ 言う必要はない。(「マ」は「ゴヤサツテの方を」とめたからではない。) (「マ」は「ゴヤサツテ」である。)	
64 86. 07	ゴアサツテ これはあまり使わない。 こゝつとまには日付というが、 日後とわい。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ
	286		
項目名			
明々々後日 III			(47)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 86.93	#ゴヤサ ₁ ヲ 採甲 〈ゴヤサ ₁ ヲという言葉はあつたけれども、 実際には使われて、カ ₁ 日 ₁ という が普通である。従つてゴヤサ ₁ ヲは 言葉としてあつてはいる。〉	
64 87.43	ゴアサ ₁ ヲ 〈エアサ ₁ ヲ以上はあつた道理に 使われぬ。〉	
64 87.66	#ゴアサ ₁ ヲ 〈これはあつたには使われぬ。 多くは日附で「 ₁ 」である。〉	
64 88.85	NR 答付	
64 89.01	NR カ ₁ 日 ₁ 指して「 ₁ 」と言ふ	
64 90.30	NR 使われぬ	
64 91.49	! goasat:e 〈?〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (48)
項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
64 91. 65	gojasat:e 〈希〉 (〈あまりいわけない。〉 たいていは又Dという由。)	
64 92. 50	NR (goasatte という人もある。) 不採	
64 94. 08	ゴヤサツテ 〈シアサツテの四の次Dから五の ゴアサツテである。〉	
64 94. 55	!ゴヤサツテ 〈あまり平素うわけない。〉	
64 95. 82	NR 答はI	
65 00. 83	ゴアサツテ 〈余り多くない〉	
65 01. 92	NR ・そのうう時には、そのD (例之は12月の 入シテ)を使う。	
65 09. 38	NR ことはない。何日と日とをミテ言う。	
65 10. 65	ゴアサツテ 〈少〉 普通には、「シアサツテ/次/日」等という	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

頁目番号	地図番号	A 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (49)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 11. 33	NR 用語なし	
65 14. 25	gojasatte <若い者は使わないが、中年以上の者は実際につかう>	
65 16. 15	<梯>ゴヤサツラ (ロクヤサツラと言いはない。)	
65 16. 85	? ゴワサツラ	
65 17. 50	? NR <ゴヤサツラとは いわない。>	
65 19. 43	ゴヤサツラ (ゴヤサツラの次は言わない。ロクヤサツラなどと続ける言いはない。)	
65 19. 67	NR <言わない。>	
65 20. 50	ゴアサツラ <希>	
65 20. 94	!ゴヤサツラ <希> <ゴヤサツラと言いはないが、多くは、その日の名を言う。>	

それではないと確かにはその日を示した気がない。>

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	286		
項目名		〔B 除いた共通語〕	
明々々後日 111		〔C 除いた特殊語〕	(50)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 21. 17	ゴアサッタ (稀) 普通は日付さいう。	
65 21. 94	ゴヤサッタ 〈少〉 大抵は具体的な日付さいう。	
65 22. 37	シアサッテイツキ ?	
65 22. 79	ゴアサッタ。 “長考したか、思い込ませず、使わない。但しゴアサッテでも良かったらう— さういふかも知れないが、自分は聞いたことかたない。”	
65 22. 93	ゴアサッタ (稀)	
65 23. 54	goyasatte 〈冗談にさういふ。〉	
65 23. 86	NK. 〈老人は gojasatte と書いた。 残々は日さいう。〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (51)
項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 24. 01	goyasatte <四の次は五Eから goyasatte とマロいうのや(山形)や。この及マは使わぬ。>	
65 27. 22	! goasatte <希> <冗談とマロいう場合のみに使う。>	
65 27. 44	NR ㊦	
65 27. 73	NR ! <マア。今の次は(siasatteの次は)はぬ>	
65 28. 21	! gojasatte <ゴ><希> <冗談めいた……方で普通には使わぬ>	
65 28. 64	NR ㊦	
65 29. 15	NK <何月何日という。>	
65 29. 63	NR ! ㊦	
65 29. 88	NR ! ㊦ …… <ズにちさ言う>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (52)
286 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 30. 58	NR. 〈あたるコトは無い、日さ言う。 例には、27日 = ヨリマス 等〉	
65 32. 30	ゴアサツテ 〈余り多くはない〉	
65 32. 70	ゴアサツテ 〈稀〉 ?	
65 32. 89	NR. 別に用語なし	
65 33. 31	NR. 別に用語なし	
65 34. 13	gojasatte (実際使つかどうか、うたがわなし)	
65 34. 41	! yoyasatte 〈「五やアツマ」とでかいうのだ 3うか、一般に使われない。〉	
65 34. 85	goyasatte 〈おろし使われない、そのつぎは rokuyasatte である。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (53)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 35.24	gojasatte 〈冗談に言うだけ〉	
65 36.00	NR ナシ	
65 37.06	! goasatte 〈ユ.希〉 〈普通にはあつくりわかれ〉	
65 37.21	! goasatte 〈ユ-モリスの言い方である。〉	
65 37.58	NR ナシ	
65 38.02	NR ? ぼろぼろ	
65 38.46	NR ! ナシ	
65 39.12	NR ナシ	
65 39.78	NR ! ナシ	
65 40.52	! ゴアサラ 〈希〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (54)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6541.27	!ゴアサツテ <!ロウアサツテ>	
6542.27	NR わからぬ。大抵は、日付で言うらう。	
6542.32	ゴヤサツテ〈?〉 一般的には、日付で言うらう。	
6543.05	!ゴヤサツテ (新しい言葉、余り一般的でない)	
6543.52	NR 日付でいう。	
6543.56	NR 具体的には月日さう。	
6544.26	goyasatte <稀>	
6545.88	NK <何日と日と云います。>	
6546.15	シワサツテ [シサツテという]	
6547.09	NR ! 日と言うに「けた」。	

▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (55)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 47. 24	NR. ㊦	
65 48. 02	NR. ㊦	
65 48. 26	! goasatte <コ.希>...<冗談に便のみ>	
65 48. 82	NR ㊦	
65 49. 03	NR !㊦	
65 49. 60	! goasatte <コ.希>	
65 49. 69	NR ㊦	
65 50. 13	? コヤサウ 大抵日さいう。	
65 50. 96	NR. ナニチとさいう。	
65 51. 52	NR <コ.日さいう>. 7月27日㊦ら7月27日と。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (56)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
65 52. 03	NK < 特別の呼び名はない。 >	
65 52. 71	NR < 日という >	
65 52. 90	gojasatte < 稀 > < ぶつは日と言うが、 「ゴアサツ」ということは 滅多にない。 >	
65 53. 47	? goasatte < 言う場合は、「ゴアサツ」とも いうが、その場合は、 ほとと日数を言う。 実際的にはアではない。 >	
65 53. 52	NR. 「何とも言わない」	
65 53. 83	子 goasatte < 大人は「ゴアサツ」とは 言わずに日と言う。 >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 〔B〕 除いた共通語 〔C〕 除いた特殊語	ページ
	286		
項目名			
明々々後日 III			(57)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6554.08	NK. 〈無理に之は. ヨラカ×とマモエウ。〉	
6555.31	NR ナシ	
6556.60	〔#〕* シアサッテ	
6557.14	*? siasatte (は「おはこはにみたる語は。たいという答えてあたは。あとより十分考えて訂正。)	
	〈一日教が狂、マモマ変で あるか... F10 siasatt という〉	
6557.36	〔siasatte〕	
6557.54	NR ! ちいさエウ。	
6558.07	! gopasatte <2>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (58)
項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 58. 10	NR 付!	
65 58. 37	NR ! 言葉が甘い。	
65 59. 46	! goyasatte 〈コ〉… 〈普通は使わない〉	
65 59. 67	NR 言葉が甘い。	
65 60. 40	ゴアサ ^ア テ 〈希〉 *名が甘い。 採押。	
65 62. 22	NR 〈何日先としよう〉 〔ゴアサ ^ア テ〕 採押。	
65 62. 48	NR 〈目で言う〉 (別に南 ^ア テ ^ア の ^ア 日 ^ア で ^ア 言 ^ア う。と)	
65 62. 64	ゴアサ ^ア テ 〈直接に今の日 ^ア の ^ア ようが普通である。〉	
65 63. 43	NK 〈この時は、日 ^ア を ^ア 言 ^ア う ^ア であ ^ア る。何 ^ア が ^ア 言 ^ア う ^ア が ^ア 付 ^ア く。	
65 60. 22	ゴヤサ ^ア テ 〈セオコ ^ア 〉 付 ^ア く。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ 其中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	286		
項目名		〔B 除いた共通語〕	
明々々後日 III		〔C 除いた特殊語〕	(59)

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 63. 58	NK <此地に於けることばはたひい>	
65 65. 17	<?> fisatte (次ぎ gosatte とは言わな 1. 何度か尋ねてみると窮して 11 だと云うからみると、N.R と 1 だと云うのであつた)	
65 65. 22	N.K. <実際に云つたことばはな。若し云うなら ヨロカサキとでも云う。>	
65 66. 51	N.R. <これに当る語を知らず。>	
65 66. 89	N.R. +シ <sasatte ままの呼名1 だけ。>	
65 67. 86	N.R. +シ	
65 68. 09	N.R. じ1	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (60)
項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
65 68. 13	NR ! ㊦	
65 71. 15	ゴアサッテ <以下ロクアサッテ, ヒアサッテと綴く>	
65 72. 29	goasatte <「今の次は、もう言えなひ。」とつけ加ふ。>	
65 72. 97	希 goasatte <アジタ, アサッテ〜と綴けて 言ふと「ゴアサッテ」と言ひければ、 うは日さ言うのである。>	
65 75. 17	ヨカサキ <今のあとほ〜ニチサキという>	
65 75. 40	NR. ナシ [si'asatte] [「〜の次の日は、 gojasatteという。】	
65 76. 56	NK jokkasaki ナとという。	
65 77. 13	N.R. 110の註と同じ。(si'asatteを認めておす の2は「日」と思ふ)	

オコサ sasatte, 当人認むす。調査者は
「この地裏のことはと認めて……と思ふ」とする。

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (6/)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
65 77. 86	NR. ナシ. <人におろは「jasatte」ということもある.>	
65 82. 48	! gojasatte 冗談半分にいう語.	
65 84. 28	NR. 言わない.	
65 85. 49	NR. ナシ	
65 95. 32	NK. <どうして動物は付らぬ付ヨッカサキと云う.>	
66 00. 53	NR. ! <特別に言いかたは無い日と言う.>	
66 00. 97	NR. <今の次の日と言う> (アサツラの次の日と言うこと)	
66 01. 93	NR. [jama asatte 希].	
66 02. 62	NR. <日と言う>	
66 03. 52	jiasatte 今の次は goasatte	

▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 (B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語	ページ (63)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A. 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6625.66	NR <言わはひ>	
6626.30	goasatte 5日目にたふから siasatte と いうのは変だ。goasatte と たふわけた。	
6623.98	siasatte [あまう用いひひ]	
6630.43	NR. た!	
6630.58	! gomasatte <希> <ゴ>... <冗談のうに言う はけで普通には 使用した。>	
6631.53	gomasatte 希	
6631.60	sigasatte no tsuyi no gi 希	
6631.69	NR た!	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (64)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
66 32. 88	goyasaite 夕次の日は tokujasaite (夕次の日は fitijasaite; ただこれに稀に使う。)	
66 33. 27	NR. 付1.	
66 33. 89	NR 付1.	
66 34. 07	jiasaite 希. 五ヨリ言わ付1. 何日と日区言。	
66 34. 32	NR. 付1.	
66 35. 36	NR 付1.	
66 36. 05	NR 付1. 使わ付1.	
66 39. 29	NR 〈日区言〉	
66 40. 29	NR ! 使わ付1.	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A) 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (65)
	286		
項目名			
明々々後日			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6640.34	!gonasatte 〈ゴ〉…〈冗談か、て言う時〉に使う〉	
6640.76	NR ! ㊦	
6641.39	gonasa'ite 希	
6641.43	NR. 言わん。〈気田川の一ノ上流の小川 では gonasa'ite といふ。〉	
6641.82	NR 特定の言ひに㊦	
6642.33	gonasa'ite 与次郎DE fokunasate. 与次郎DE fitsinasate といふ。 今は幾日と言ふ上はあつて使わぬといふ。	
6642.58	NR. 言わん。何日といふ。	
6643.15	NR. ㊦	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (66)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6643.16	NR 言わばい。	
6643.72	NR ばい (言わばい)	
6645.62	NR. 〈何日と日さい〉。	
6650.12	NR. 言わばい。何日とい。	
6650.70	goyasate < ば > 〈今は使わばい。 「何日と日さい」〉	
6650.79	NR ばい。	
6651.32	NR ばい。	
6651.64	NR ばい 使わばい。	
6652.06	NR ばい。何日さ言。	
	ば. goyasate	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記	ページ
	286		
項目名		〔B 除いた共通語〕	(67)
明々々後日 m		〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
66 52. 30	NR. 言わばい。何日と日さいう。	
66 55. 38	siasaite 希。	
66 55. 51	NR. (特別な名はばい。何日と日さいう)	
66 55. 87	NR. <何日と日さいう>	
66 56. 97	N+I 何日。言わばい	
66 56. 31	NR. <何日と日さいう>	
66 57. 96	NR. 何日持と日さいう。	
66 61. 02	goasate <希> <多くの場合、日さいう。>	
66 62. 01	NR. 何日	
66 62. 38	gojasaite 今日言わばい。昔は日さいう。	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ
	286		
項目名			
明々々後日 III			(68)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
66 65.25	gogasatte <希> <ゴッはイロとロエ>	
66 67.81	si'asatte <ADKはワ>	
66 77.41	NR. <イ言いはない>	
66 77.70	NR. <III言いはない>	
67 11.60	# si'asatte <古>	
72 08.97	NR. ない。	
72 18.58	si'asatte → N'it'sugi. go'asatteとは 言わない。	
72.29.50	? goasatte	
72 37.67	NR. (御崎? gojasatte)	
72 38.12	? goasatte	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	④ 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (69)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
72 38.82	〈希〉 goasatte	
72 39.24	NR. 「go'rasat'te とは言わぬ」	
72 39.41	? goasatte	
72 39.85	NR 又す語付!	
72 46.82	go'roasat'te 〈goは「五」9にと〉	
72 49.35	NR. ! 月日 511, コアサツとは言わぬ。	
72 49.95	! コアサツ 〈希〉	
72 58.89	goasatte 〈希〉	
72 66.60	NR. (gim ¹² ba ju: 由)。	
72 69.51	goasatte (冗語 = 言わぬ)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (70)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 01.67	NR ちうざわん, 日さえう.	
73 02.66	NR. 日さえう (南くとはある.) gōāsāt:e	
73 02.71.	gōāsāt:e (稀) 多(付)日さえうと答う.	
73 02.87.	? goasat:e	
73 03.17	NR. (日さえう.)	
73 03.29.	gō,āsāt:e 殆どと云わす。	
73 03.38.	NR. 数えう.	
73 03.75.	NR. 日さえう. 1147d11	
73 04.29	NR 7d1. 〈何日や日さえうと云う〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (71)
項目名 明々々後日 in			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 05. 13	NR 言い方1	
73 07. 18	#ゴアサッテ 〈あまり使われない、普通何日とQIに5Eい〉	
73 09. 61	! gojasatte 〈普通何日という〉	
73 12. 11	NR 〈特に言わぬ〉(普通何日という)	
73 12. 83	gō a sāt:e 〈之わぬか、強いて之は〉	
73 13. 34	NR 之わん、日さ之う。	
73 16. 65	NR 当り語がたぬ。	
73 18. 04	NR 〈何日と暗と言う。〉	
73 20. 59	NR 日さいう。! goasat:e とは之わぬ。	
73 20. 95	goasat:e (わたしに之わぬ—と答う)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ 中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (73)
項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 30.91	goasatte (稀)	
73 31.27	NR. <ヤ/アサツテトトと言わん> <あとはもう何日と05之う>	
73 31.41	NK シルアサツテ / アクルヒとマヒイフ3うとの。	
73 32.27	jiâsat:e (a su a sat:e sma sat:e ji: a sat:e) と付てゐる。	
73 32.46	NR. <之わなひ, 日さ之う>	
73 32.97	NR. <今次の日と10之わなひ> <ヤ/アサツテトト>	
73 33.75	NR. 特に言わなひ。	
73 34.41	NR. <名手之付ト>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (74)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 35. 19	NR. <日にちさ言う>	
73 35. 34	! goasatte <子.コ>	
73 35. 93	NR. 名付. 何日と日にちさ言う.	
73 36. 28	goasatte <余り使わぬ。>	
73 38. 55	NR. <何日という。>	
73 40. 24	? コリアアサリ gorja:satte	
73 42. 12	!? goasat:e <大伴:の頃:何日と月日で之れ言わす>	
73 42. 72	NR. 付	
73 42. 76	? goasat:e <付:マ:日さいう>	
73 43. 14	! goasatte <希>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (75)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 43. 76	gojasatte. 〈使わぬが「言」とすれば〉	
73 44. 45	! goasatte 〈ゴ〉	
73 44. 99	NR. 〈該当する語がない〉	
73 45. 43	! goasatte 〈子〉	
73 46. 51	NR. 語がない。	
73 47. 55	NR. ない 〈goasatte とは言わなかった〉	
73 51. 06	NR. 取ろく之わぬ。日さ之う — と答う。 ゴアサツ、ヤアサツ — 言わぬ。 — と答う。	
73 51. 09	NR. 〈使わぬ。ゴアサツと之わぬ。 ヤアサツとも之わぬ。〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (76)
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 52. 14	NR. 之わなひ。〈ゴアサツテというくもいる〉	
73 52. 38	goasatte [希]	
73 53. 51	!ゴアサツテ 〈この語は希にしか用いられない。シアサツテゴマにしか用いられない。のがふつうである。〉	
73 54. 23	NR. 〈特別の語はない。云にちさいう〉	
73 55. 48	! goasatte 〈ゴ〉	
73 56. 70	go'asa'tte. 〈古くはに使われない〉	
73 56. 98	! gojasatte... 〈実際には余り使われない〉	
73 57. 64	! goasa'tte... 〈おかしき言ひかた〉	
73 61. 17	NR. 之わなひ。(ことはなひ)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (77)
	286		
項目名			
明々々後日 . . .			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 62. 42	NR. 〈とくべつなことははない〉	
73 62. 67	NR. 特別の語(名称)はない。	
73 63. 12	ゴアサツテ(希)	
73 65. 25	! goasatte 〈ユ〉 〈きうなまは; たいてい日ち を言う〉	
73 65. 51	goasatte 〈余り使わな、日ちを言う〉	
73 67. 61	NR. #言いはたは!	
73 68. 32	! goasatte 〈ユ〉 〈ぶつは、日ちを言う〉 〈シアサツテのツヅルヒとむ〉	
73 72. 27	ゴアサツテ 〈希〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 286	① 普通注記	ページ (78)
項目名 明々々後日 III		〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 72.96	NR. ! 特別のことばを便宜的に「ナンチヤ」というように指す。	
73 73.23	# ゴアサッタ <希>	
73 73.56	# ゴアサッタ <希> (学語) <ことばとしては支那語の「ゴア」に由来する。>	
73 73.92	ゴヤサッタ <希> <「使う」とすれば「このことばである」が、希に「使う」のみである。>	
73 73.99	ゴアサッタ <希>	
73 74.75	ゴアサッタ → <普通に用いる。珍しくない。>	
73 75.30	NR. (日に「ア」の語とあることである。)	
73 75.71	goa'satte <希>	
73 75.96	NK. 言い方はない。	
73 77.27	NR. 呼び名なし。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 286	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (179)
項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 81.38	NR 〈単語としてはない〉	
73 81.47	ゴアサツテ 希	
73 81.97	〈?〉ニサニチサアキ 〈ヤナアサツテは用はない〉	
73 82.97	NR 特別のまとめた言葉(単語)はない。	
73 84.16	NR 特称はない。〈この場合は、日教で言う〉	
73 85.61	NR 特別の言い方はない。	
73 85.84	NR (言い表わし方はない)である。	
73 86.56	NR 〈日=5で言う〉	
73 86.63	ſiasatte no tsugi no gi 〈特称はない。〉	
73 90.26	〈?〉ゴアサツテ (希)である	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕〔〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (80)
	286.		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
73 90. 75	ゴアサツテ (ことばとイマは之わぬこと多い)	
73 91. 94	NR. とくへつの語で之わぬ。	
73 92. 62	!ゴアサツテ <希>	
73 94. 14	goasatte <希>	
73 95. 09	goasatte <希>	
73 95. 25	goasatte <希>	
73 95. 63	NR. (特称は「は」ほうである。)	
73 96. 16	NR. <方言言。この日までのことばは言わぬ。> (特別の語は「は」ほうである。後でその土地自身の教師に質問してみた。)	
73 96. 53	NR. 特定の言「は」ほうは「は」。 siabatten tsugi	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (8/)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
74 00. 15	NR. 〈 かん日と けつまりは 1マ言い、 まちのわねい ますに する。〉	
74 01. 11	? fiasat:e no tsungi	
74 01. 18	gojasatte ----- 冗談に言うのみ。	
74 02. 47	gojasat:e 〈希〉 (gojasat:e も いうが。 まちの こと 1マ 日と 日にちさいうことが 多い。ゆ。)	
74 04. 56	NR. 〈 gojasat:e と 言ったりするもの あるが、何日か こと かわりに 1マ する かマ 1マ 日に 言う人が 少ない。〉	
74 05. 21	NR 答なし	
74 10. 57	NR. (〈 hinitji de imana makaran desu na 〉 と 答えた。)	
74 11. 27	NR. 〈 日にちマいう。〉	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 〔B〕 除いた共通語 〔C〕 除いた特殊語	ページ (82)
	286		
項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
74 12. 71	NR. 〈 < x mitʃi > と < 日 > を括弧でいう。〉	
74 15. 85	NR. 〈 言ひ無し 〉	
74 21. 62	NR. 〈 ʃiasate no tsugi desuka? himatʃi ju: te hoka niwa iwan desu zo. 〉	
74 30. 75	NR. 〈 は、ヨ、himatʃi といふ。〉	
74 31. 08	NR. 〈 X日と日といふ。〉	
74 31. 13	gojasate 〈 ~ to iwan naran ga 〉 と いふは、その日には 言わぬ といふた。	
74 32. 44	NR. 十日 (十日と日と括弧でいう。)	
74 36. 68	goasat:e 〈 希 〉	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (83)
項目名 明々々後日 山			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
74 60.23	! goasat:e (希)	
74 60.30	! goasat:e <稀>	
74 70.72	goasat:e <稀>	
75 00.66	ゴアサッテ → <すくない>	
75 02.22	goasatte [希]	
75 03.11	#? goasatte <旧を言うのが3.00であるが、 新しいマ言えは、「ゴアサッテ」 となるが 自信がたない。>	
75 04.11	NR. +シ	
75 04.27	NK 11わな11.	
75 04.64	? sakisasatte	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (84)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
75 23. 05	NR 〈特別のことばはなひ。ゴアサツとは使わなひ〉	
75 23. 74	gojasate [稀]	
76 59. 31	? siasatte 〈新しいことば〉	
76 59. 40	siasatte 二の日の次は gojasatte	
82 39. 31	goasatte 〈希〉	
83 00. 11	NR 井之わなひ。〈ゴアサツとも之わなひ〉	
83 00. 80	(シゴチアト) (単語) 〈ことばとては之わなひ〉	
83 01. 76	〈?〉ゴアサツ	
83 02. 19	NR 〈語は()〉 〈ゴアサツとも之わなひ〉	
83 02. 55	NR (単語とてはなひ)	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	(A) 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (85)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
83 02. 91	NR 之わばい。(語付1)	
83 03. 70	NR 〈語付1〉(ゴアサツと日之わばい)	
83 03. 84	NR 〈?〉〈特別の語付1〉 (マアサツと日之わばい) (ゴアサツと日之わばい)	
83 05. 73	NK 〈言はずはない〉	
83 05. 76	NR. 〈日にちでい〉	
83 06. 04	NR. 〈日にちでい〉	
83 06. 42	NR. (特称付1)	
83 12. 33	NR. 〈名サ. の付い〉	
83 13. 72	〈?〉 goasatte	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (86)
	286		
項目名			
明々々後日 111			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
83 13. 84	goasatte <希>	
83 13. 88	goasatte <希>	
83 16. 20	NR. 言い方は無い。	
83 20. 59	goasatte <希>	
83 20. 98	NR 言われない。	
83 21. 58	NR 相当するコトバ付1	
83 22. 43	goasatte <希>	
83 22. 68	goasatte <ニ><希>	
83 23. 59	? NK (それに当る言い方は付いてない。)	
83 24. 83	NR. 特称付1。	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (87)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
83 25.03	NR. 特称はじい.	
83 25.56	NR. < 薯段は, sigonitsi saki と言ふ。 >	
83 31.12	NR. 言わじい.	
83 31.17	NR 言い方じい.	
83 31.98	!! goasatte < ... と語りつたか, 方言は言わん。 >	
83 32.07	NR < 言わじい >	
83 32.59	goasatte < 希 >	
83 32.84	goasatte < 希 >	
83 33.03	goasatte < 理度は方言たか 何と人と変わじい。 >	
83 33.79	NR < 言い方じい >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (88)
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
83 34. 63	NR. (特称はかいすうである。)	
83 35. 05	NR. <「fiasatte の次のD」という。>	
83 35. 48	NR. 別に特称はない。	
83 41. 46	goasatte [希]	
83 43. 06	goasatte <希>	
83 43. 74	goasatte <希>	
83 43. 97	goasatte <ただ コジツケの感 >	
83 45. 18	NR. <目で言う>	
83 45. 24	!NK 言い方だ。	
83 45. 74	NR. <目で言う>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 (B 除いた共通語) (C 除いた特殊語)	ページ (89)
項目名			
明々々後日 山			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
83 52. 29	NR. 特別の名がたひ。 < しい ² 言之け. siasatte no saki. >	
83 52. 40	NR. 言ひ方たひ。	
83 52. 92	! DK < ゴアサツタというのは 南にことある >	
83 54. 29	NR. < 言ひ方たひ >	
83 61. 28	NR. < 言わはひ >	
83 61. 31	goasatte [希]	
83 62. 81	NR < 言ひ方たひ >	
83 63. 64	NR < 名がたひ >	
83 73. 08	goasatte < 希 >	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕	ページ (90)
	286		
項目名			
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
02 37.79	NR <コトバがはい>	
02 47.56	NR <コトバがはい>	
02 57.12	NR (コトバがはらし)	
02 65.96	itsika (単に五日という語で表わす)	
02 75.97	itsika itsikaburi <itsikaの方が多く使う>	
12 13.76	kja:di:itsika 主語ではチャーライカ 茶花別の人、チャーライカ <意味不明>	
12 23.91	<?> jukk'a aŋ [asatŋim na:tsa nu na:tsa]	
12 33.61	NR 言わはい	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	① 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (9/)
	286		
項目名 明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1241.05	asat'inuna:tʃa:nuna:tʃa: <jukka'zatu と回数でかい。>	
1242.22	(?) 日マ 答33.	
1242.26	NR. <15かい>	
1242.72	ʔasat'inuna:tʃanuna:tʃa 新	
1251.04	NR. <11かい>	
1260.78	(?) jukka'zatu <1の取ママからマヨは 日数でかい。>	
1271.05	NR. <11かい>	
2072.20	√ sugara ikka <今日から五日>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	286	(B) 除いた共通語)	
項目名		(C) 除いた特殊語)	(1)
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
18 62.48	? シアサッテ) 110のカードと ? ヤリアサッテ) 同1.	? ゴアサッテ ↓ これのみ採用
36 99.55	NR むにちえいじ	ヤリアサッテ / ツギノヒ
47 41.44	ヤナサッテ / ツギノヒ	コゴノサッテ [諧]
	・おどけマエの場合、コゴノサッテ、トサッテ(その次のB)というが普通は使わぬ。 ・むにちえいじの場合が多い。	
56 65.46	チヨオトヨウカ	シアサッテ
63 66.16	# goasatte <希>	NR
	<用いたとはあるが、使ったとは好ましくない。>	

- ▶ A・〔B〕・〔C〕ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は縦密にする。

質問番号	地図番号	A 普通注記	ページ
	286	(B 除いた共通語)	
項目名		(C 除いた特殊語)	(2)
明々々後日 III			

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
63 79. 74	ミアガッテ / アクルヒ.	ゴラガッテ (希)
63 85. 28	! goasatte ... < 実際には使われぬ。 >	NR
64 10. 77	ミアガッテ / アシタ	ゴロアガッテ < 古 >
64 47. 84	サニニチ / エイ	ゴヤガッテ < 希 >
64 79. 26	エイサス (日指す)	ゴアガッテ
64 81. 15	ゴラガッテ — < 実際には使われぬ >	NR
64 86. 93	NR	#ゴヤガッテ < ゴヤガッテという 言葉はあつたとしても 実際には使われぬ。 今の日本語の 普通である。従って ゴヤガッテは言葉 とはあつたのである。 >

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号	地図番号 286	A 普通注記	ページ
項目名 明々々後日 III		(B) 除いた共通語	(3)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
6491.49	ʃiasat:e no tsugi	! goasat:e <?>
6524.66	goyasatte <実際には使わない>	NR.
6525.05	goyasatte <実際には使わない>	NR.
6525.90	goyasatte <実際には使わない>	NR.
6535.90	goyasatte → <使う:とワナイ>	NR.
7317.29	goasatte <聞いたときはあつたが実際には使わ ない>	NR.
7376.68	# [goasatte] (被調査者は使わないと言う。)	NR.
7442.37	NR.	[goasatte]
7500.66	シアサ, ラ, ツキ → <普通に使う>	コアサツテ → <すくはない>